

登録コード	E4134900	開講年度	2026				
授業科目	発達心理学					担当教員	水口 崇
英文授業名	Advanced Lectures on Developmental Psychology					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	
講義室	教育会館1号室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	1. 17世紀から現在（源流から近年）の発達心理学の成り立ち 2. 発達研究の変遷とパラダイムシフトが生じた理由						
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：発達心理学の源流 第 3 回：ホールの発達研究 第 4 回：フロイトの発達研究 第 5 回：フロイト以後 第 6 回：個人差研究 第 7 回：ワトソニズム 第 8 回：機械論としての学習理論 第 9 回：有機体論：レヴィン・ウェルナー 第10回：有機体論としてのピアジェ理論 第11回：ピアジェ批判 第12回：認知革命と情報処理理論 第13回：ソビエト心理学：ルリヤ・ヴィゴツキー・レオンチェフ 第14回：ヴィゴツキーの研究【授業アンケートの実施】						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業中の小レポートにより、みずからが考え、自己啓発に努めることができるかをはかる（40%）。 ・計2回の中レポートにより、授業を通して考えたこと、気づいたことについて問う（60%）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	mizutaka@shinshu-u.ac.jp （水口崇）						
【教科書】	特に無し						
【参考文献】	適宜紹介する						